

## 群馬県内の情報通信業に関するアンケート調査

群馬経済研究所 主任研究員 櫻澤広祥

### 調査のポイント

昨年来のコロナ禍によりテレワークやビデオ会議などが普及し情報通信技術の重要性が強く認識され、これまで以上に情報通信業に注目が集まってきている中、群馬県内における現状の把握を中心に、課題や業界展望について調査を実施した。

### 要約

- 業務内容では「受託開発ソフトウェア業」が約 8 割で最も多かったが、大半の企業が複数業務を行っており、業務間の垣根はあまりないと考えられる。
- 企業規模では、売上高 1 億円未満、従業員数 10 人以下がそれぞれ過半数となっており、比較的小規模な企業が主体。
- 受注については、県内よりも県外の割合が高く、顧客業種としては「情報通信業」や「卸・小売業」などの非製造業の割合が高い。
- 事業の課題としては人材、受注に関する事項が多かった。特に人材については必要最低限で業務を行っている企業が多く、人材確保・定着のためにテレワーク、フレックスタイム制といった「勤務形態の柔軟化」などの施策を行っていた。
- 8 割弱の企業が今後本業界は伸びると考えており、約 4 割が情報通信サービス関係を中心に新たな分野へ取り組んでいくことを考えていた。